

- 平成20年度 一般会計補正予算
- 一般質問
- 常任委員会報告
- 飯南町への想い（寄稿）

**飯南町議会** 島根県飯石郡飯南町下赤名890番地  
飯南町議会事務局 TEL:0854-76-2190 FAX:0854-76-2867

第14号

平成20年7月18日



### 備後、出雲の国盗り綱引き合戦

「よいしょ！よいしょ!!」の掛け声も、まわりの声援にかき消されそうな程の賑わいでした。快晴に恵まれた4月20日、银山街道の最大の難所であった赤名峠には、飯南町や隣の三次市布野町(広島県)からもスポーツ少年団ほか、大勢の方が参加。太鼓演奏などが披露され、とても楽しいイベントとなりました。国盗り綱引き合戦の勝敗は、仲良く引き分けでした。



## さあ 地産地商に腰をあげよう

この素晴らしい自然環境と生活共同体の力で

かつては日本のどこにでも見られた田植え共同作業の情景。今は、催し物や地域の祭事として伝承されています。思い返してみると、戦後から今日まで、私たち国民は豊かさを求めて移動し、モノを創り、家や自動車を求め、猛烈に働いてきて食べ物に感謝することを忘れてきたように思えます。

今、日本経済や地球環境は危うい方向に向かっていきます。世界資本も工業国から農業国に移動しつつあるなか、どうやら食糧の大切さが国民意識にも芽生えだしました。

私たち飯南町は

全国の中山間地域共通の課題を抱えています。そして、やはり財政難です。

それでも暮らしていきたいと

それでも暮らしていかなければと思える町なのです。

豊かな自然と落ち着いた生活空間、伝承されてきた風習。優しさと強さが共存している町なのです。

私たちの出番が来たんじゃないのですか。

百家争鳴の農業論議より

百姓が本当に喜べる環境を創っていきましょう。

既に「青空市」での事例があるじゃないですか。

高齢者が前向きに農作物販売に取り組み、

思いもよらぬ収益をいただくのです。

さあ、みんなで地産地商に取り組んでいきましょう。

地域環境を大切にし、身の丈にあった生産をし、

多くの人に求めてもらいましょう。

結果的に食糧自給率の向上にもなることですから。

私たち議会も、応援をしていきます。





6月定例会は、6月10日から6月20日までの11日間の日程で開かれました。  
 今定例会には、報告4件、承認7件、条例改正3件、予算5件、その他2件の21件が提案されました。これらは審議の結果、全議案が原案どおり承認、可決されました。

## 6月定例会で可決された 主な議案は次のとおりです

- 報告** 一般会計及び簡易水道事業特別会計繰越明許費の報告についてなど四件
- 承認** 平成十九年度一般会計補正予算専決など七件
- 条例改正** 飯南町ふるさと応援寄附条例の制定など三件
- 予算** 平成二十年度一般会計補正予算など五件
- その他** 公立雲南総合病院規約の一部を変更する規約についてなど二件

除雪機械整備  
 事業費など

## 平成20年度 一般会計補正予算は 7千6百72万円増額

各会計	補正予算	予算総額
一般会計	76,721千円	5,999,051千円
特別会計	介護保険サービス事業	25,405千円
	簡易水道事業	349,281千円
	下水道事業	431,206千円
	飯南町病院事業	1,068,834千円

### 請願

(請願者)  
 松江市大正町四四二一六  
 島根県社会保険推進協議会  
 会長 池淵栄  
 紹介議員 伊藤好晴  
 門藤眞一郎

### 陳情

(陳情者)  
 出雲市大津朝倉三一五一三  
 国土交通省全建設労働組合  
 妻伊川・神戸川支部  
 支部長 河村良平  
 書記長 森藤広志

(内容)  
 安全・安心な公共事業を推進するため、国土交通省の事務所・出張所の存続を求める陳情

(審査委員会)  
 教育経済常任委員会  
 採択

(陳情者)  
 飯南町下赤名三三五一三  
 赤来農政会議  
 会長 仁井康富  
 顧問 農政会議  
 会長 那須道弘  
 飯南町商工会  
 会長 後藤英夫

(内容)  
 飯南町「食と農」の町民条例制定を求める陳情

(審査委員会)  
 教育経済常任委員会  
 (審査結果)  
 採択

## 新たな指定管理者を9対4で可決

「公の施設（琴引スキー場ほか）の指定管理者の指定について」新たな管理者として(株)飯南トータルサポートを賛成：九、反対：四で可決しました。

これについては、付託委員会でも議論され、教育経済委員会は賛成四、反対二で原案どおり可決しました。  
 採決にあたり、委員長は「皆さんにとって、苦渋の選択であることは十分承知しているが、議員に与えられている答えは可か否のいずれかひとつ、採決によって可否を決定します。」と宣しました。  
 行財政調査特別委員会は、琴引スキー場について継続することは町民の負担を増やすばかりであり、閉鎖すべきであるとの考えを示していました。

町執行部は、尾道松江線の開通により通過人口が激減すること、現に今シーズン中は三万人の利用客があり貴重な資源であること、スキー場の閉鎖により国からの借入金の上げ償還を求められる可能性があることなどを挙げ、事業を継続することし、住民説明会で理解を求めました。  
 (株)琴引フォレストパークは、町に返済すべき借入金が一カ年に亘って未返済となっており、これ以上事業を継続することは困難な状態でした。  
 町執行部は、新たな指定管理者を募集、(株)飯南トータルサポート一社が応募し、

六月定例会議の議案として上程されました。本件の賛成者も、反対者も、町民の負担を最小限に留めることが最大の焦点で、(株)飯南トータルサポートが提出したと思われる、琴引スキー場ほかの施設に対する経営戦略を示すよう求めました。

### (反対意見)

中野坂上地所から譲り受けた、(株)琴引フォレストパークの債権、二七億二千万円は町民の財産であり、保全されなければならぬ。また、町からの貸付金残四億一千六百万円は、同社を存続させることにより何年掛かろうと返済させるべきであり、町民に負担をかけることは許されない。したがって、管理料を支払ってでも(株)琴引フォレストパークを引続き指定管理者とすべきである。

### (賛成意見)

現(株)琴引フォレストパークの経営体制では今後も経営改善は見込まれず、抜本的な見直しが必要である。すでに同社は、株主・町民の信頼を失っており、経営の継続は一層の累積赤字の増加を許すことが予想され、町民の負担を増大させるおそれがあり、新たな管理者を指定すべきである。

## 議員発議 次期選挙から 14人の議員定数を

# 12人に

飯南町議会議員の定数が、現行の十四人から二人減じて十二人とする議員提出の定数条例案を賛成多数で可決しました。  
 定数改正については、合併協議会において、「定数は十四人とする」と定められました。さらに「新町の議会運営にあつては、新町建設計画に基づく住民サービスの充実を第一に考え、財政面なども充分考慮し、議会の活性化を図る」との協定に基づき、飯南町議会行財政調査特別委員会で議論を進めてきました。  
 「議員が減少すれば町民の意見が届きにくくなる」など、反対意見、「現行の十四人を維持する」、一方で「十人でも議会運営は可能」等の意見もありましたが、本町が置かれている財政状況及び町民の意見、そして近隣町村の状況等から削減との意見が大勢となりました。  
 採決の結果、賛成：十、反対：三で十二人にする可決となりました。





大切に飯南和牛を育てる畜産農家

# 6月定例会 町政を問う 一般質問



## Q ふるさと納税への対応は A 寄附を通して地域振興を

小野 賞議員

本年五月から施行さ

れたふるさと納税制度で、他地域へ居住を有する方々から寄附をお願いするとなれば相当なエネルギーが必要です。

先進的な施策を具体的に打ち出し、飯南町を応援したいと思わせる政策競争を仕掛ける積極的な町政の展開が

必要となりますが、町長の思いは。

山崎英樹町長

寄附を通じて本町を応援したい人や興味のある人に出会えるので、これを契機に特産品の定期購入や本町に来ていただき地域振興に結びつけることが期待できます。

この制度に波及効果という付加価値をどうつけるかということがポイントになります。納税者(寄附者)の思いに応じられるような運用をします。

## Q 後期高齢者医療保険の廃止を A 基本的に必要な枠組み

伊藤好晴議員

この制度は保険料の年金からの天引き、定額による検査や処置の制限、退院支援計画により退院させた場合の報酬加算、延命治療を控えた場合の支援料の導入など、七五歳以上の人を差別する制度です。

払う人と払わない人がいるという矛盾、保険料は二年ごとの自動

的見直しがあり、政府に廃止を促す行動に出るべきでは。

山崎英樹町長

国民皆保険制度を維持するために、現役世代と高齢者がともに支えあう制度で、基本的に必要な枠組みです。

改める必要のある課題は関係機関へ要望します。

## Q 独自の減免制度を A 単町では不適切

伊藤議員

後期高齢者医療広域連合は法定減免のみで、独自の減免制度を持ちません。厚生労働省は保険料の減免を市町村に判断を委ねるとしており、本町独自の減免制度を創設すべきでは。

山崎町長

軽減措置は三段階で、二一年度から低所得者に配慮した軽減措置が取られます。

県の広域連合も独自の措置を設けており、単町で特別な制度を設けることは適切ではありません。

## Q 原油高騰に対策を A 今ある国の制度の利用で

小野議員

米作、肉用牛、酪農は本町農業の基幹であるが、原油高、飼料の高騰、農薬・肥料など資材費の上昇で経営を圧迫し、現在非常に厳しい状況にあります。

再生産費も生み出せない状況であり、早急な対策が必要では。

山崎町長

昨年来の国際的な穀物や原油価格の高騰は、畜産業や施設園芸をはじめとして大きな影響を与えています。しかし、残念ながら緊急的な対応ができる状況ではありません。

国の制度をまず利用し、国・県・町そして関係機関が連携して農業者のみなさんとともに振興に努めます。



## Q 琴引フォレストパークへの対応は A 借入金は町負担で

伊藤議員

昨年一二月三日の役員会で「解散やむなし」と確認されたことが議会に説明がなく、配慮に欠けるのでは。覚書にある一億九千万円の返済については、民・民の契約で済まされないのでは。

道義的責任については、町長は町民に納得の出来る説明をされたい。貸付金の保全是至上命令では。

山崎町長

営業に与える影響、株主への対応を考慮したうえで公表しませんでした。民・民の契約については、締結時の判断によって公表しなかったと説明を受けました。

再生計画の破綻は、策定の責任者に道義的責任はあると考えますが、法的な瑕疵はありません。四億二千万円弱の借入金は町が負担せざるを得ない状況です。







**Q** 末端組織への自主防災対策は  
**A** 町民への説明会を

長島正一議員  
昨年、防災訓練が行われ、数々の課題が浮き彫りになりました。災害時におけるマニュアルが絵にかいたものにならないよう、末端組織への対策が必要です。また、土砂災害等の危険箇所調査の公表は、



山崎英樹町長  
災害防止、住民の安全を守ることは行政の基本的責務であり、町民の協力のもと避難訓練を行い、役場職員の初動体制の確立も確認できました。その結果、多くの課題や反省点も見出され、まとめの報告にあわせ防災パンフレットを各戸配布し、町民説明会を行います。ハザードマップ、災害予想地区については、県の調査報告をもとに住民への公表、周知を図ります。

**Q** 若者の定住対策と産業創出を  
**A** 産業振興により就業の場確保

長島議員  
人口減、特に若者の流出(五月広報六二人減)が見られ、若者を中心とした雇用対策が急務です。そのためには、財政再建とともに、地場産業の創出による地域経済の振興なくしては将来がありません。当町の明確な戦略とその施策は、

山崎町長  
定住対策は待ったなしであり、里山コミッションを中核組織とし、丸ごと飯南町の情報を発信し顧客やファン確保に努め、産業振興により就労の場を広げ定住対策を進めます。今年度、新たに都市企業等の支援を受けながら、環境に配慮した産業活性化ビジョンを策定し、ビジネス化します。また、エコ米の看板につきましても、検討します。



集落で水路掃除

6月定例会  
町政を問う  
一般質問

**Q** 話題性ある施策を  
**A** 不妊治療費を検討

難波伸一郎議員  
次の国勢調査に向け、思い切った話題性のある施策が必要です。七五歳以上の老人医療費の無料化を求めます。また、若年対策として、保険対象外の不妊治療の補助を二〇万円程度実施する考えは、

**Q** 病院と診療所の連帯は  
**A** 改革プランを策定、一層の連携を

難波議員  
病院事業への一般会計による繰り入れは困難と思われれます。病院、診療所の外来患者や入院患者が減っている現状と対策、病院と診療所の人事交流は、また、土曜日の診療を検討し利便性と収益の向上を目指すべきでは、

山崎町長  
改革プランの策定中であるが、飯南病院は今年の二月、三月の入院患者が激減、病床利用率が六〇%を割り込み、収支は本年三月末で一千万円余の資金不足が発生し、非常に厳しい経営状況です。国保の被保険者は、六〇%が町外で医療提供を受けています。アンケート結果を詳細に分析し、意見交換会など実態をとらえ、利用を呼びかけます。病院と診療所の機能分担も検討します。相互の人事異動も定期的に行い、今後一層の連携を図っていきます。土曜日の診療は、平日への影響があり、困難です。



来島診療所



山崎英樹町長  
老人保健医療費の町負担金は約七億二千万円、受診者の一部負担金は約六千三百万円です。これを負担するのは財政上困難です。不妊治療費の助成は検討します。

下赤名地区 福田集落



# 質問一般

## 総務厚生常任委員会

### ■飯南町ふるさと寄附条例の制定

この条例の主旨は、寄附金を財源として活力ある町づくりを進めるために、「環境を守る森づくりに関する事業」と「将来を担う人材の育成に関する事業」です。

本町の建設計画の基本理念である「生命地域宣言」の主旨に沿ったインパクトのある具体的事例を挙げ、本当にふるさとに寄附したい気持ちになれるように広く寄附を募ることが必要であると意見を付して承認しました。



ヤマメのつかみどりは大盛況（ポピー祭で）

### ■生活路線バス運行に関する条例の一部を改正



これまで5月・6月に定期券での乗車を試行するなかで、利用している約20名の高校生等に好評であったことから、今回7月1日より定期券料金を定める条例改正です。



工場予定地

### Q 工場予定地に定住促進住宅を A 状況により判断

櫻井秀憲議員

サプロ島根の工場予定地を利用して、1タン、Uターン者の住宅を建てれば、町の定住対策にも役立つと思います。

四〇歳までの方が、家賃三万円で二〇年以上居住すれば本人のものになるという県の制度があります。本町では四五歳以下で二五年居住すれば土地を提供するなどの魅力ある条件を付け、三次

市方面へも働きかければ一〇戸から一五戸の建設が可能です。

山崎英樹町長

サプロ島根の運営が、当初計画どおりに進んでいないことを、心からお詫び申し上げます。現在年間一〇〇万円程度でサプロ島根に貸し付けており、期限到来時期にそのような状況になった場合は、有効な活用方法の一つと思います。



## 教育経済常任委員会

### ■公の施設の指定管理者を指定

琴引スキー場及び琴引スキー場周辺施設・都市交流センター・飯南町道の駅「頓原」情報交流館の施設の指定管理を行なうことについて、新たな指定管理者となる団体（㈱飯南トータルサポート）を指定管理者として指定することに決しました。



琴引スキー場を視察



道の駅「頓原」

### ■試験栽培を現地調査

園芸振興対策事業として少量培地（樽）試験栽培を2棟のハウス（12a）でトマト栽培をしている認定農家（安部博明氏）を現地調査しました。



獅子の安部博明氏

### Q 次期町政への意欲は A まちづくりの先頭に

石橋 宏議員

町長の任期も残すところ、あと半年余りとなりました。

これまでの厳しい財政難のなか、大きな課題、難問に全力を傾注し、総合振興計画の折り返しを迎えることとなりました。



経済情勢は一層混迷を深めるなか、数々の実績と経験を生かして、飯南町の発展に引き続き尽力する考えは。

山崎英樹町長

私は飯南町初代の町長として、まず合併の理念達成と新町建設計画の実現に向け、総合振興計画を策定し、行政改革大綱を定め、その具現化に努めてきました。社会、経済情勢はますます厳しさを増すなか、産業振興、定住対策など

待ったなしの状況です。一つひとつ芽吹いたものに方向付けをし、形を歩みを確認なものにしたいと思っています。町民のみなさんのご支持がいただければ、引き続きまちづくりの先頭に立つて努力したいと考えています。



来島小学校の子どもたち（賀田城跡へ登城）



飯南町への想い

飯南町へ住んで

飯南町真木 澁谷 亜希

飯南町に来て、丸五年が経ちました。

初めてこの町に来たときは、今まで行ったスキー場よりもすごい雪に驚きましたが、住めるのかなという不安はありませんでした。

大阪に居たときは四季を感じることもなく、食べ物の旬も分からずに暮らしていたので、こちらに来て、春になるとウグイスが鳴き、夏はクーラー要らずの涼しさ、秋は食べ物美味しく、冬は雪と季節を感じる事が出来て感激です。

夜になると空に沢山の星はじめて天の川を見ました。しかし、来た当初には、



知り合いもいないこの町の方言が理解できず、まるで違う国に来たようで少し寂しい感じもしました。でも、この町の方々は、気軽に声をかけてくださり、自然に輪のなかに溶け込んでいきました。

そのうちに、子どもが保育所で方言を覚えて帰り、わたしも知らず知らずのうちに話している自分に気がつきました。

そして沢山の友人ができ、姉妹以上の親しい友人もできました。(今では関西弁が出てこないほどです。)

三年前から春と秋の二回、奥真木地区にある「農事組合法人 眞栄グループ」のみなさんと一緒に大阪、京都、横浜、広島などから多くの人に呼びかけて田舎体験「ふるさと創造の集い」を行っています。

リポーターの方も多いので、この時は家族が帰って来るよつな感じがしています。来られた方はこの町の温



地域の皆さんと

かさ、自然の豊かさを満喫して帰られていきます。

私はこの町に来て沢山の人が出会い、支えられ、励まされ、見守っていただき、本当に人の温かさを感じることができ、感謝の気持ち一杯です。

今では、この町が私たちの故郷です。

昨今の世相を考えると、私たちのとった大きな決断は正しかったのだと思うのは、確信となり、少しでも多くの人々にこの思いを伝えたくてなりました。

この町の良さ、温かさがいつまでも変わらず大切に受け継がれていくことを心から願っています。

一億円を目指して

会員七十名の青空市「ブナの里」は産地偽装が問題視されるなか、地元産で「新鮮・安心・安全・おいしさ」をモットーに売り上げを伸ばし、夢であった年間売り上げ一億円も手に届くところにきました。

特にブナの里の特徴は新鮮野菜を中心に苗物やグループ等中心とした農産物加工品の多さ。また、珍しい山野草等魅力ある青空市です。

この市に携わる約一八〇人の平均売り上げは五十万円余になり、生きがいと健康のもととなっています。

今年は、一億円を目指し頑張ります。



ぶなの里 地元農産物の直売で賑わう

編集後記

近年の原油高騰の影響は、あらゆる分野に及び、世界的食料危機を招く事態となってきました。

厳しい農業情勢が続く日本においても、政財界を含め食料自給率の向上が叫ばれるようになってきました。これを追い風と見るべきか、迷うところです。

畜産の飼料高騰は危機的状況といわれます。水稲中心の我が町にとっても肥料等資材の値上げは、農家経済への更なる打撃となっています。

このようななか、六月議会が開かれ、長年の懸案でありました琴引きスキー場は、町内企業による新たな指定管理会社による運営が開始されることとなりました。地元企業への就労の場が狭まるなか、地域の人々に愛される「スキー場」になることを祈るものであります。

早急な財政再建と地場産業の創出が求められる今こそ、町民の英知を集集しようではありませんか。

議会広報編集委員会

〈長島 正一〉